

豊岡市教育フォーラム

～先生たちの研修会～

【問合せ 学校教育課 TEL22-1880】

1 豊岡市教育フォーラムとは

どんな会なの？

1年に一度、豊岡市が大切にしている教育の基本姿勢を市内学校園の先生たちが確認し合う研修会です。

豊岡市が大切にしている教育の基本姿勢って？

豊岡市但東町出身の日本を代表する東井義雄先生が実践された「子どもの考え方、感じ方、思い方、行動の仕方等」に学び、子どもに寄り添う教育です。

どんな内容なの？

今年度は、市内の先生たちによる実践発表と、芸術文化観光専門職大学の平田知之先生による講義を行いました。

2 演劇ワークショップを日常に活かすためのポイント

◎日常のすべての場面において、子どもたちは、必ずしも同じスタートラインに立っているとは限りません。

出来る、出来ないではなく「その子どものありのままの状態がどのような状態なのかを理解しよう」とすることが大事です。

◎子どもたち全員で、それぞれ在りたい姿のまま活躍できる場をつくる能力が、最大の非認知能力です。

「子どもの様子をじっくり見取って、一番いいタイミングでその子が活躍できることを提案する。でも無理強いはいしない。」これは、自律して学習する子どもの育成につながります。

◎子どもたちを評価する際、出来・不出来のジャッジをしないようにしましょう。

大人の視点から何が見えたか、どう見えたかを丁寧に伝えましょう。決して無理にほめないことも大切です。

◎日常において、子どもが何かに取り組む際、一人で取り組むことが難しい時は、大人と、もしくは友達と取り組むなど、柔軟な対応をしましょう。

やみくもに全員共通のゴールを設定することは、非認知能力向上の視点では意味がありません。子ども一人一人の状態を丁寧に観ましょう。

ご家庭でも活かせるポイントがいっぱいです。ぜひ、取り入れてみてください！

芸術文化観光専門職大学 ▶
平田専任講師



★「はばたきメッセージ」も

是非ご覧ください！

- ・非認知能力の向上って？
- ・家庭でどうすればよいの？



園と小学校が 架け橋でつながる

【問合せ 幼児育成課 TEL29-0053】

『幼保小の架け橋プログラム』とは…

◆「架け橋期」とは、5歳児から小学校1年生の2年間のことを言います。地域の幼児教育と小学校教育の関係者が連携・協働して、「架け橋期」の教育の充実を図り、生涯にわたる学びや生活の基盤を作ることを目指します。

笑顔いっぱいの1年生に…

小学校が
好き♪



- ▶ 園と小学校の 何がつながるの？
- ▶ 園と小学校がつながるって どういうこと？
- ▶ 園と小学校がつながって どんないいことがあるの？

園と小学校の従来の連携を改めて見直し、『豊岡市架け橋プログラム』が今年度からスタート！

⇒ 学びの連続性を豊かにする

＝ 園での遊びを通した経験を小学校の学習につなげる、活かす

《今まで以上に園と小学校の間で重点的に取り組まれていること》

- 『連携会議』…園と小学校の連携について計画を立て、話し合う
- 『相互参観と事前事後研修』
…参観し合い、相互の教育や子どもの姿（5歳児、1年生）について、理解を深めたり話し合ったりする
- 『交流活動』…相互の教育のねらいを明確にし、5歳児と1年生の交流の充実を図る
- 『つながるためのカリキュラムの共有』
…相互の保育・教育の理解を進める



職員同士が子どものことについて語り合い当たり前につながりあえる関係づくり

「豊岡市架け橋プログラム」のスタートから半年経ち、学校園の先生方にアンケートを実施しました。95%以上の学校園は、昨年度までに比べ、連携会議が充実し、相互参観及び事前事後研修が子ども理解の機会となっていると感じています。

進んできていると感じることは…



- ・子どもを多面的に理解しようとする意識が高まってきている。
- ・園小職員が顔を合わせて、子どもの姿に基づいた話し合いができています。
- ・1年生担任・管理職だけでなく他の先生も園児たちを参観する機会が増えている。等

私、それ知ってる！

もっと知りたいな

園でしたことがある！



小学校の先生が僕のこと、知ってるんだって

【参考】幼児教育と学習のつながりがわかりやすい！

国の考え方は…

《幼児期及び幼保小接続の教育について

参考動画（文科省配信）》

◆遊びは学び 学びは遊び “やってみたいが学びの芽”
～「やってみたい」から始まる学びの芽（知識・技能や思考力等の基礎、学びに向かう力）の育成



この取組は今年度限りのものではなく、子どもの姿に寄り添って毎年更新し、積み上げていくものです。